

向こう岸からみた良心 イスラームの良心、西欧の良心

1. イスラーム世界(正確にはムスリムの世界)の良心は、イスラームという宗教の法にもとづく
2. 西欧世界の良心は
 - (1)キリスト教的な道徳
 - (2)世俗化が進んだ後の西欧に生まれた道徳

両者の最大の違いは何か？

1. ムスリムにとって、規範はイスラーム誕生(7世紀)以来、変わらない
2. キリスト教の規範には、変わらず部分と変わる部分がある。
3. 特に、啓蒙主義をへた近代の西欧社会では、規範は、人間が理性で考えてつくるもの。近代的良心もそこから

イスラームとはどんな宗教か？

1. 唯一絶対の神(アッラー)
2. 創始したのはムハンマド。神から啓示(メッセージ)を託されたので「**預言者**」。預言者はたくさんいるが、最後で最高がムハンマド
3. 託された神のダイレクト・メッセージを本にしたのが、**クルアーン**(コーラン)

4. 神と人間とは垂直関係。人間同士は平等
5. 人種、民族による差は認めない。身分格差も認めない
6. 一神教徒(キリスト教、ユダヤ教)は**庇護の対象で、納税義務**

神の法としてのイスラーム

7. イスラームは信仰だけでは成立しない。外形的な法の体系をもつ
8. 神が人間に定めた法(ルール)の段階
 - ★絶対やれ
 - ★やったほうがよい
 - ★どっちでもよい
 - ★やらないほうがよい
 - ★ぜったい禁止

ムスリムとは？

1. イスラームする人
2. イスラームするとは？

唯一絶対の神(アッラー)に、全面的に従うこと(全面的に身を預けること)でもある

ムスリムの良心

1. ムスリムにとっての良心というのは、神とともに在ることから来る
2. 神の定めに従うことが「良心」
3. 神が楽しんでいい、というなら禁欲は無用
4. 人間は、神の定めを絶対に踏み超えてはならない

たとえば豚肉の禁止

* 汝らがたべいえはならぬものは、死獣の肉、血、豚肉、それからアッラーならぬ邪神に捧げられたもの、絞殺された動物、撃ち殺された動物、角で突き殺された動物、また他の猛獣の喰らったもの—汝らが自ら手を下して最後の止めをさしたものはよろしい—それに偶像神の石壇で屠られたもの。

だが、激しい飢饉のとき、自ら好んで罪を犯そうとしてそうするのでなく、無理強いされる者に対しては、まことにアッラーは限りなき寛容と慈悲を示し給う。

また聖典を戴いた人たち(キリスト教徒、ユダヤ教徒)の食べ物も汝らにも許されており、汝らの食べ物も彼らに許されておる ⇒ムスリムが少数の国で、一神教国からの輸入肉はハラールとする説の根拠

神は慈悲深い存在

1. 欧米諸国でのイスラーム観とは異なり、ムスリムにとっての神は、慈悲深い存在
2. 無理強い禁止、できない場合には仕方ない

断食のつとめは限られた日数の間、守らねばならぬ。但し、汝らの中で病気の者、旅行中の者は、いつか他の時に、同じ日数だけ断食すればよい

あまねく慈悲深いアッラーの御名において

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

できるのにしなかったとき

★また、断食をすることができるのにしなかった場合には、貧者に食物を施すことでつぐないをすること。

★何事もすすんで善事をなす者は善い報いを受けるもの。断食も、できるなら規律通りにする方が汝らのためになる。

★もしものごとの道理が汝らにはっきりわかっているならば

人間は欲望に弱い存在

★イスラームの人間観は、強くて理性でものごとを決めて実行できる人間ではない。

★西欧の理性中心主義、啓蒙主義とはここに断絶

★ムスリムの良心とは、神の定めに従い、それを超えたり、破ったりすることへの恐れを抱くこと

規範主義

1. ムスリムが新しい現象に直面するとき以下の順番で新しいルールをつくっていく

- (1) コーランに典拠があるかどうかを調べる
- (2) ハディース(預言者ムハンマドの言行スナナの記録)
- (3) 典拠からの論理的導出
- (4) イスラーム法学者の合意

弱者救済

神の命令としての弱者へのやさしさと救済

両親にはやさしくしてやれよ。親戚や孤児や貧しい人にも。旅人にも。威張った高慢な人をアッラーは好まない

畜畜でアッラーから授かった恵みを隠す人びと⇒無信心の者。屈辱的な罰を用意した

殺人と戦争

★ムスリム信徒の存亡の危機には戦うことが義務。キリスト教のような平和主義はない。しかし、キリスト教社会は守ったことは一度もない

★理由なき殺人は厳禁

★殺人は、刑事事件ではなく、民事の不法行為であるから同害報復か、あるいは損害賠償によって償う

ムスリムの良心

1. ムスリムにとっての良心というのは、神とともに在ることから来る

2. 神の定めに従うことが「良心」

3. 神が楽しんでいい、というなら禁欲は無用

4. 人間は、神の定めを絶対に踏み超えてはならない

自由

ムスリム：神と共に在る自由

近代西欧世界：神から離れる自由

ムスリム：神の法 ⇒イスラーム法シャリーア

近代西欧世界：人の法 ⇒憲法